

ドナルド・キーンと 石川啄木

Donald Keene to Ishikawa Takuboku

前期 2022.2.13(金)→4.18(土) 後期 2022.4.24(金)→7.12(日)

10:00→17:30(最終入場17:00まで) / 第2火曜日休館

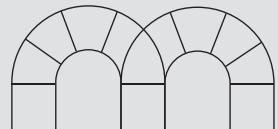
※2/14(土)13:00閉場、4/12(日)・5/30(土)終日閉場 ※企画展関連イベントで企画展入場が制限されることがあります。日時等詳細は青春館ウェブサイトでお知らせします。
 ◎石川啄木「ローマ字日記」(復刻版)の展示は、3/14(土)からの展示となり、それまでは複写を展示致します。

〔入場料〕一般500円／大学生・高校生300円／中学生以下無料／障害者手帳をお持ちの方無料／団体20名以上400円(お支払いは現金のみとなります)

もりおか啄木・賢治青春館(2階)展示ホール

〔主催〕もりおか啄木・賢治青春館(指定管理者:NPO法人いわてアートサポートセンター) 〔共催〕盛岡市、一般財団法人ドナルド・キーン記念財団
 〔後援〕在札幌米国総領事館、国際交流基金、コロンビア大学ドナルド・キーン日本文化センター、岩手日報社、朝日新聞盛岡総局、読売新聞盛岡支局、毎日新聞盛岡支局、産経新聞盛岡支局、河北新報社、NHK盛岡放送局、IBC岩手放送、テレビ岩手、めんこいテレビ、岩手朝日テレビ、エフエム岩手、盛岡市教育委員会

〔問い合わせ先〕もりおか啄木・賢治青春館 TEL 019-604-8900/seishunkan@iwate-arts.jp



もりおか
啄木・賢治青春館

MORIOKA
TAKUBOKU & KENJI
MUSEUM



ドナルド・キーンと石川啄木

(主な展示内容)

I. ドナルド・キーンの生涯

「源氏物語に魅せられて」「日本兵の日記」「日本文化、文学を世界へ」など

II. ドナルド・キーンが視た石川啄木

【前期】「ローマ字日記」「現代歌人・啄木」「啄木、源氏物語を楽しむ」「娘義太夫」「啄木の俳句感」など

【後期】「ローマ字日記」「現代歌人・啄木」「教師啄木」「函館大火と啄木」「釧路の冬~小奴」など

※展示内容は一部変更になる場合があります。

(関連イベント)

以下のイベント開催日について、終日展示ホールは閉場となります
詳細はウェブサイトでお知らせします

●啄木忌前日祭 朗読劇「ローマ字日記を読む」

2026年4月12日(日) 時間未定

※詳細は決まり次第HPでお知らせします。

●古淨瑠璃『弘知法印御伝記』三段目

●トークイベント「ドナルド・キーンと石川啄木」

2026年5月30日(土)13:30～【料金】1,500円

キーン誠己氏による古淨瑠璃のあと、キーン誠己氏、山本玲子氏、当館館長による鼎談を行います。



石川啄木生誕140周年・宮沢賢治生誕130周年

前期 2/13(金)→4/18(土) 後期 4/24(金)→7/12(日)

10:00→17:30 (最終入場17:00まで) / 第2火曜日休館

※2/14(土)13:00閉場、4/12(日)・5/30(土)終日閉場 ※企画展関連イベントで企画展入場が制限されるときがあります。日時等詳細は青春館ウェブサイトでお知らせします。

●石川啄木「ローマ字日記」(復刻版)の展示は、3/14(土)からの展示となり、それまでは複写を展示致します。

〔入場料〕一般500円／大学生・高校生300円／中学生以下無料／障害者手帳をお持ちの方無料／団体20名以上400円（お支払いは現金のみとなります）

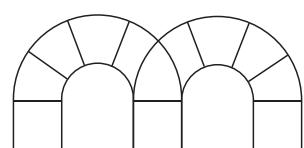
もりおか啄木・賢治青春館(2階)展示ホール



〒020-0871
岩手県盛岡市中ノ橋通一丁目1-25
TEL 019-604-8900
seishunkan@iwate-arts.jp
<https://seishunkan.jp>



【バス】盛岡駅より10～15分／「盛岡バスセンター」下車徒歩3分／「青春館前」下車徒歩0分
【タクシー】盛岡駅前より約10分
【駐車場】専用駐車場はございません。周辺の有料駐車場をご利用ください。



もりおか
啄木・賢治青春館

MORIOKA
TAKUBOKU & KENJI
MUSEUM

啄木が日記で我々に示したのは、極めて個性的でありながら奇跡的に我々自身でもある一人の人間の肖像である。
啄木は、「最初の現代日本人」と呼ばれるにふさわしい。

日本文学研究者ドナルド・キーン(1922～2019)は、18歳の時にアーサー・ウエーリー訳「源氏物語」と運命的に出会ったことがきっかけとなり、日本文化、日本文学への強い関心を抱き、生涯にわたって日本文学の研究に勤しました。その中でも石川啄木の日記を高く評価していました。石川啄木生誕140年の記念すべき年に、ドナルド・キーンと啄木をそれぞれの視点で見た日本文学と芸術の魅力に迫る展覧会を開催致します。

本展では、石川啄木「ローマ字日記」(復刻版)を函館外では初めて公開展示致します。(世田谷文学館での展示に続き)

